

地域主導型移動サービス導入前の調査からみた 気軽に外出できないことの影響 ～チョイソコおのくめ導入前の調査結果より～



松山絵理香・高下和子/NPO法人まるっとおのくめ 大石一浩/ネットトヨタ瀬戸内株式会社 西堀泰英/大阪工業大学 (連絡先: yasuhide.nishihri[at]oit.ac.jp)
小谷光/元大阪工業大学 土井勉/一般社団法人グローバル交流推進機構 鈴木雄/東京理科大学

◆気軽に外出できることの効果

- 気軽に外出できることで実現する活動
 - 通院や買い物の用事
 - 飲食店での食事, 特別な買物, 友人に会う ← **楽しみの活動**
- 楽しみの活動の効果は, 用を済ませるだけにとどまらない可能性 (交流・消費・健康など)
- 愛媛県松山市小野久米地区で2022年5月に始まったチョイソコおのくめの運行開始前に行った調査結果を用いて, 気軽に外出ができないことによる様々な影響を示す
- また, 運行開始後の利用実態等から**利用者同士の交流**が生まれている様子を紹介する

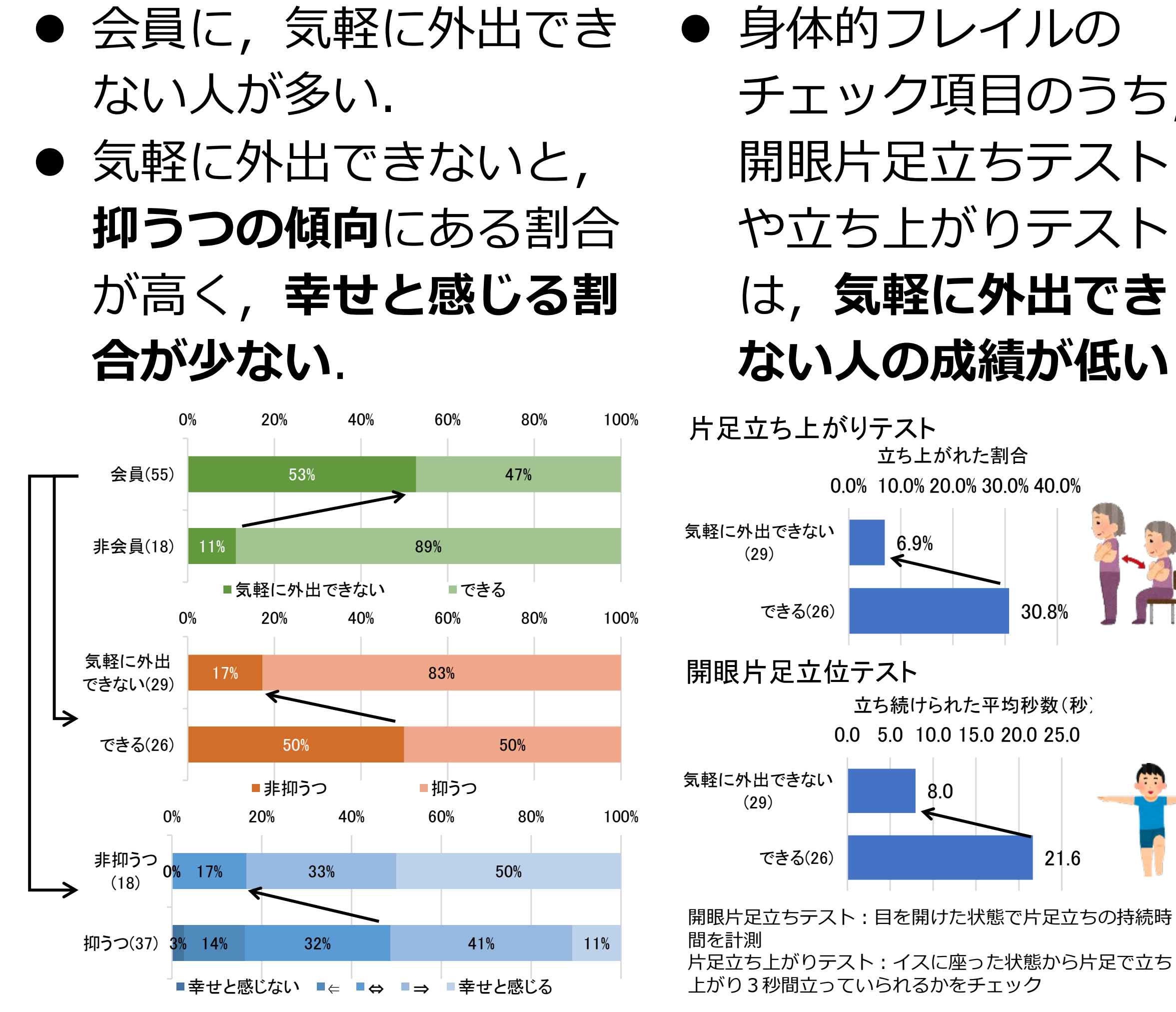
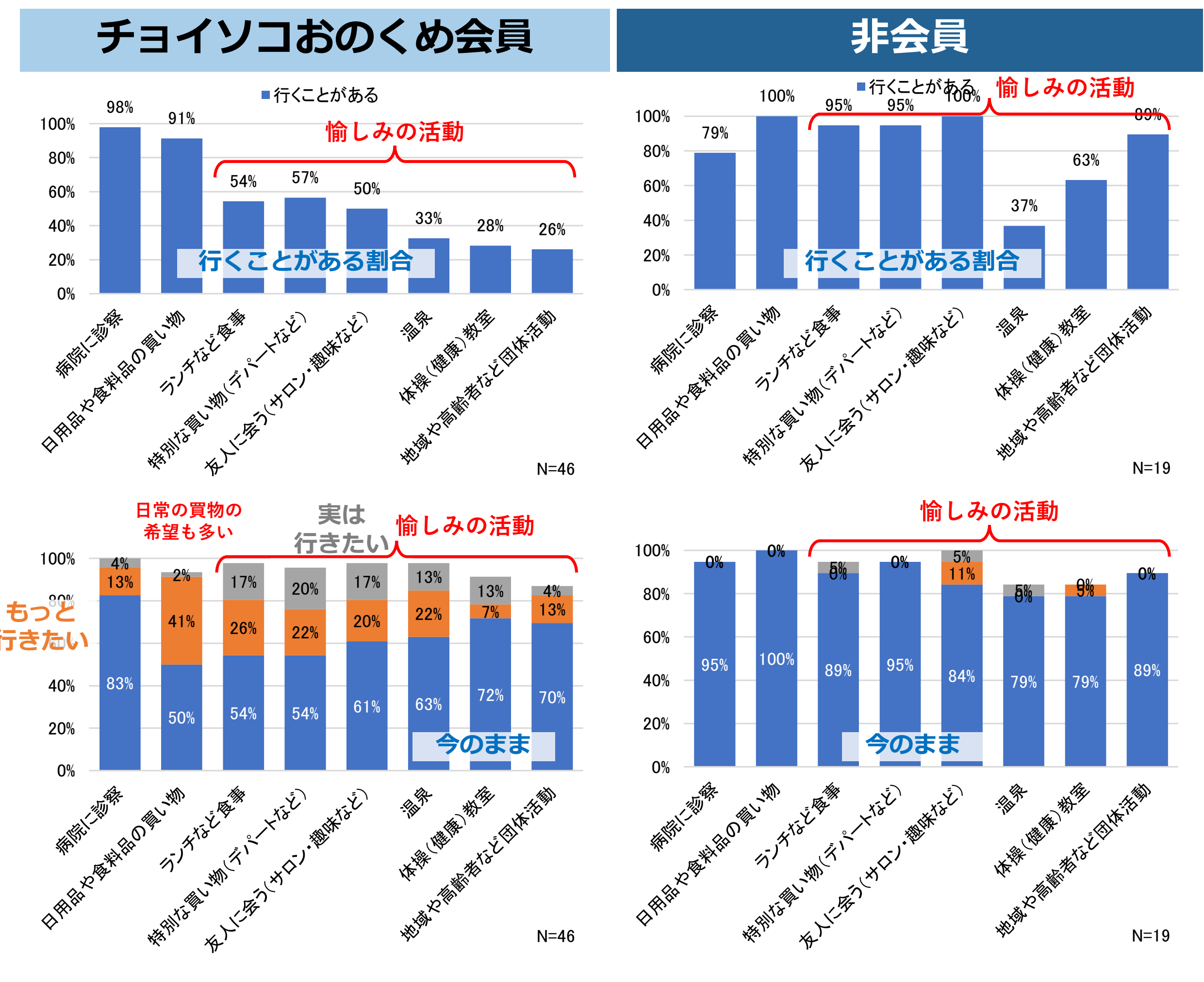
◆効果を把握するための調査

- **チョイソコおのくめ会員調査**
 - **フレイルチェック(2022年5-7※月)**
 - 身体的フレイルのチェック
 - **ヒアリング調査(2022年5-7※月)**
 - 外出実態, 幸福感
 - 精神的フレイル
- **非会員への調査** [多数が運転者] (2022年8月)
 - アンケート調査 (同上)
 - チョイソコおのくめ利用実態等
 - 配車システムのログデータ, 会員アンケート

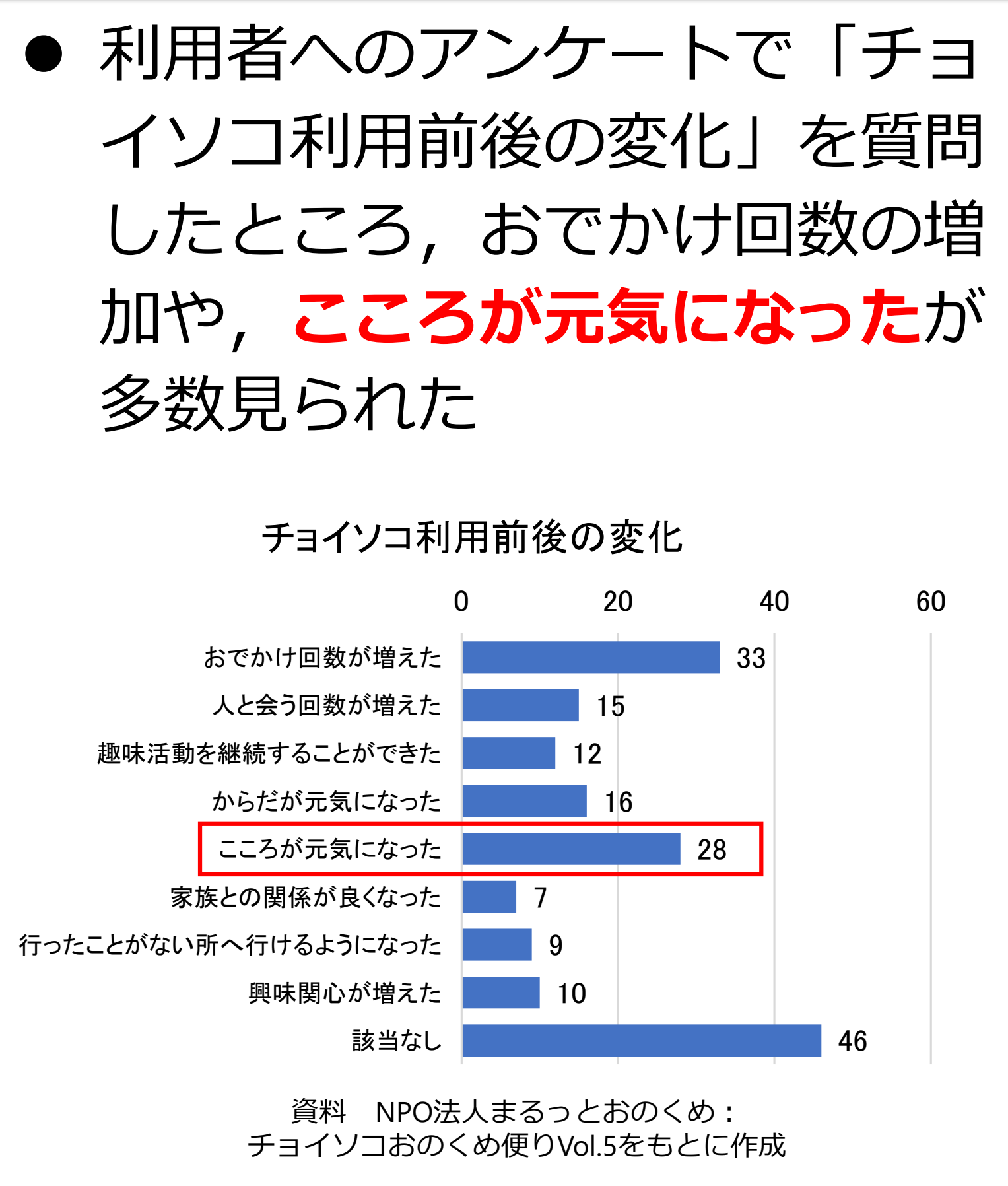


◆気軽に外出できない実態やその影響が見えてきた (運行開始前の状況)

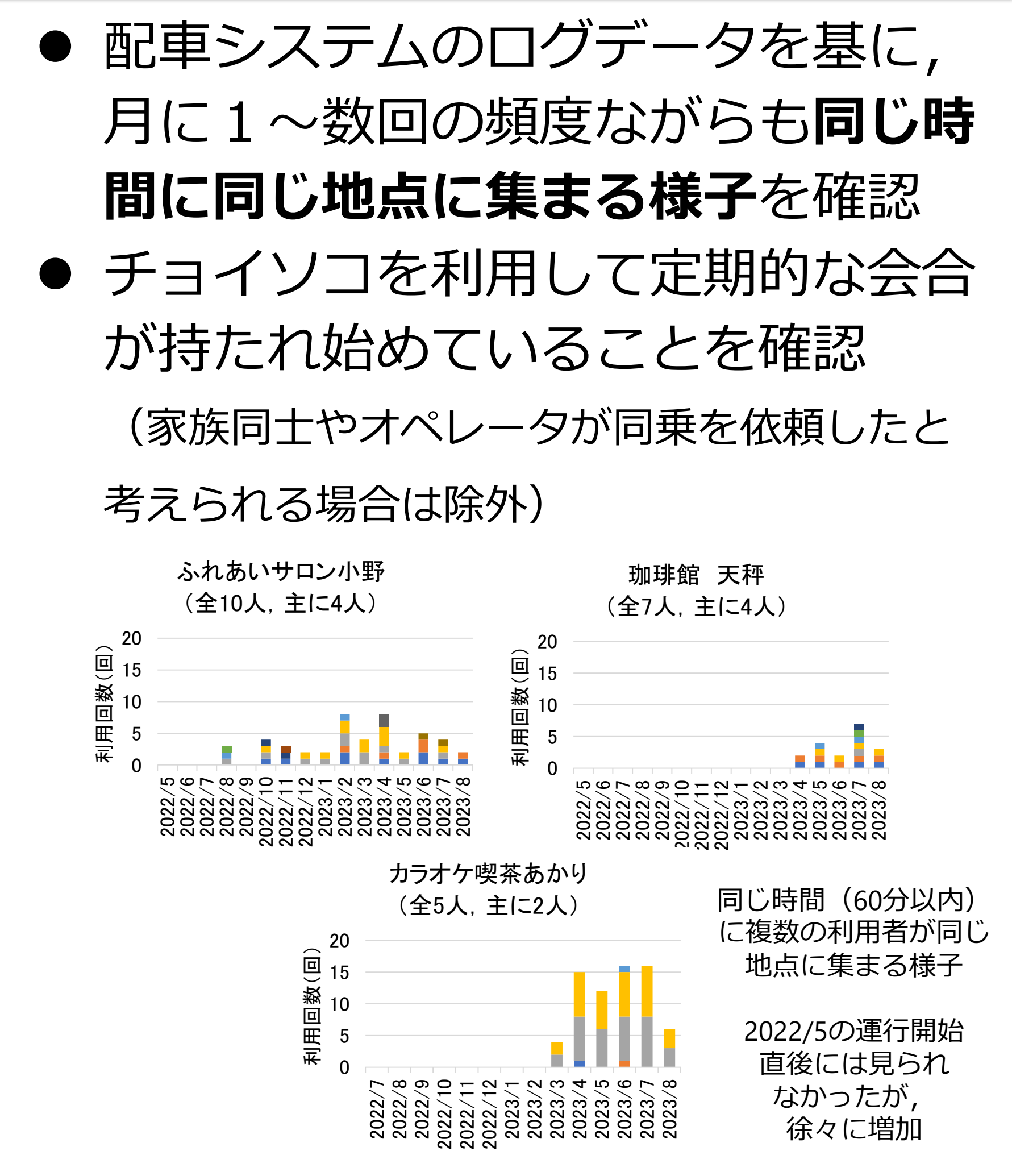
- 会員では, 普段の買い物や通院などの必需的な活動は実施率が高いが, 食事や特別な買物, 友人に会うなど必需ではないが生活に潤いをもたらす**「楽しみの活動」**は実施率が低い。
- 楽しみの活動や買物は, **「もっと行きたい」**や**「実は行きたい」**と希望する割合が多い。
- 非会員では, もっと行きたい等の外出の希望はほとんど見られない



◆チョイソコおのくめをきっかけに利用者間の交流が生まれている



- チョイソコおのくめの運行主体「NPO法人まるっとおのくめ」が, 利用者交流の場として**「まるっとカフェ」**を毎月開催
- その参加者同士がカフェで**意気投合**し, 2023年9月にはタクシーを借り切ってしまなみ海道まで日帰り旅行に出かけるまで交流が深まっている
- 運行主体による交流促進の取り組みが奏功



◆まとめと今後の展望

- クルマを利用することが難しい会員は, 主に**楽しみの活動のための外出が少なく, 外出の希望が多い**
- 気軽に外出できないことで, **抑うつ傾向になりやすく, 抑うつ傾向の人は幸せを感じる割合も少ない**
- 運行開始後に, **利用者同士の新たな交流**が生まれている
- 運行開始後に会員の中で**「心が元気になった」人が多数**を占め, 心の健康を高める効果も見られる
- 今後は, 運行開始後の身体的な影響の変化等, 楽しみの活動による様々な効果の検証を進める予定

謝辞: 本発表の一部は公益財団法人大林財団の助成を受けました。ここに記し謝意を申し上げます。